

HERO CHALLENGE 2017

サポートレース「60分耐久レース」規則書

「参加してみたいけどいきなり長時間は…」 「ヒロチャレの経験はあるが周りが速過ぎて不安…」

「耐久性が心配なので短時間のレースがしたい」という方を対象とした、60分間の耐久レース。

※申込方法が変更となりました。

第1条 参加資格と人数

1. 日本国内で有効な普通自動車運転免許証所持者。
2. サーキットでのルールやマナーを守って走行・観戦ができ、本大会の規則を理解・承諾した者。
3. 未成年者の場合、親権者の承諾を得た者。（「**未成年者誓約書**」に親権者の署名・捺印が必要）

第2条 開催日程

	開催日時	申込受付期間
第11回	4月9日(日)	3月9日(木)~3月24日(金)
第12回	7月9日(日)	6月8日(木)~6月23日(金)
第13回	10月8日(日)	9月7日(木)~9月22日(金)

※レースは「ヒロチャレ」との併催で行われる。

※レース中ドライバー交代1回義務付け。レース中の給油禁止。

第3条 参加申込

1. 受付期間

開催日程に記された申込受付期間内に申し込むこと。

2. 参加料金

1戦1台：13,000円 ※ヒロチャレとのダブルエントリーの場合、割引あり。**※要事前問合せ。**

3. 募集台数

- ・募集台数は先着10台とする。（参加者の経歴次第では台数が増える場合がある。）
- ・ドライバーは参加車両1台につき1名~3名とする。（ピットクルーの人数制限はない。）
- ・同一ドライバーの他車へのダブルエントリーは認めない。

4. 申込方法

- ① 「**参加申込書**」と「**車両申請書**」に漏れなく記入の上、**受付期間内に直接当サーキット窓口で申込み、指定のメールアドレスへ送付してください。** ※この時点ではまだ入金を行わないでください。
- ② **事務局にて申込書類を確認した上で、チーム代表者様宛に参加の可否をメールか電話にてお知らせします。**参加可能となったチームはその後3日以内に指定の口座へ入金していただくか、**直接当サーキット窓口でお支払い下さい。**

※FAXでのエントリーはお受けできなくなりましたのでご注意ください。

各書類の申込先
〒321-2102 栃木県宇都宮市篠井町 1804 ヒーローしのいサーキット Mail : hero@he-ro.co.jp
参加費の振込先
埼玉県信用金庫 森林公園支店 普通口座 0689491 / 口座名：ヒーローしのいサーキット

※振込人名は、**チーム名**もしくは**代表者名**とする。

※振込手数料は参加者負担となる。

5. 参加受理

全ての手続きが完了した時点で申込みは成立となる。

参加受理も各チームの代表者様へメールか電話にて連絡する。

6. 参加のキャンセル

受付期間内のキャンセルのみ可能。事務手数料1,000円を差し引いた金額を振込みにて返金する。

※受付期間を過ぎた後のキャンセルは認めない。決勝はDNS（リタイア）扱いとする。

第4条 参加車両

1. クラス

排気量 660 cc未滿のエンジン搭載の軽自動車で、以下の2クラスに分けられる。

Turbo	【過給機付きエンジン搭載のノーマル車両】
NA	【自然吸気エンジン搭載のノーマル車両】

※参加台数が両クラス3台以上にならない場合、混合の1クラスでのレースとなる。

2. 車両規定（両クラス共通）

1) ボディ系

- 国内で生産された軽自動車規格の車両であること。
- フロント4点式以上のロールケージの装着を強く推奨する。
- 運転席側のドアパネルや室内のパネルを加工する場合や、屋根をオープンにして走行する場合は、フロント4点式以上のロールケージの装着を義務付ける。
- ロールケージを装着する場合は、運転席側ピラー部分に緩衝材を巻くこと。
- 運転席には4点式以上のシートベルトを装着すること。（ベルト基部は車体に確実に固定すること）
- 運転席のシートはバケットシートであることが望ましい。
- 運転席側ドアの内張りやダッシュボードは残すこと。その他、安全上支障の無い部品の取り外しは認める。
- フロントガラスは純正と同じ合わせガラスを使用すること。サイドガラス・リアガラスについては透明で強度のあるアクリル板へのみ変更可能。
- 外部ミラーは左右側面に取り付けられ、機能していること。
- 室内ミラーへ被せるタイプのミラーの使用は、落下の恐れがある為禁止とする。
- フェンダーの爪折りと叩き出し加工は認めるが、オーバーフェンダーの装着は禁止とする。
- 過度の突起物パーツの取り付けや、車幅/全長を大きく超えるエアロパーツの装着を禁止とする。
- 前後に牽引フックが装着されていること。スポイラー等で牽引フックの使用が困難な場合は、別途牽引フックを追加すること。また牽引フックの位置を「↓」にて表示すること。
- 灯火類は正常に作動すること。※ヘッドライトは1灯でも可とする。
- 灯火類には飛散防止の為、ビニールテープ等でテーピングをすること。

2) エンジン系

- エンジン、ミッション、CPUはノーマルを使用すること。
- 加給器、アクチュエーターの変更/改造やNA車への追加装着禁止。ブーストコントローラーの装着は不可。
- ブローバイガスを空中排気する場合、排気量以上の容量がある金属製のオイルキャッチタンクを装備しオイルが飛散しないようにすること（2ℓ以上を推奨）。針金やテープでの簡易固定は禁止とする。
- エアコンの取り外しは自由。
- マフラー音量は **100db以下** であること。直管マフラーの使用は制限音量以下であっても禁止とする。

3) その他

- 機械式LSDの装着不可。
- サスペンション、ブレーキ、駆動系の変更や補強は認めるが、強度が低下するような改造は認めない。
- 燃料タンクは、一切加工されていないノーマルタンクを使用し、純正位置に搭載されていること。
- コレクタータンクの使用禁止。
- タイヤは市販のラジアルタイヤのみ使用可能。但し、フェンダーの叩き出し加工をしてはみ出すタイヤやホイールの使用は禁止とする。※銘柄によってはSタイヤと判断する場合があるで、詳しくは主催者まで。
- バッテリーの搭載位置の変更を認める。変更する場合は、バッテリーの重量に耐えられる台を利用し確実に固定すること。室内へ引き入れる場合はカバーで覆いドライバーから隔離すること。
- バッテリーターミナルの(+)(-)両方にテーピングをすること。
- オイルフィルターキャップ、ラジエーターキャップ等のキャップ類にテーピングをすること。
- 走行中、運転席の窓は全閉とするが、競技用ウインドウネットを装着する場合は窓を開けて走行することを許可する。但し、緊急時にその役割を果たせない品物の使用や簡易的な固定方法は禁止とする。
- 初心者のドライバーが走行する際は、初心者マークをチームで用意し貼り付けること。

3. 安全装備

ドライバーは、以下の物を着用すること。（全て燃えにくい素材であることが望ましい）

- ヘルメット（フルフェイス型またはジェット型で耳まで覆うもの）
- レーシングスーツまたは長袖長ズボン（怪我や火傷から身を守るよう厚手の生地であること）
- グローブ（自動車の運転用で指先まで覆うも）※軍手不可
- シューズ（運転に適したもの）

第5条 参加受付

1. レース当日、各チームの代表者は、定められた時間内に参加受付を完了させること。
2. 参加受付をする際、ドライバー全員分の署名・捺印された「誓約書」を提出すること。
3. 未成年者は、『未成年者誓約書』を提出すること。（提出が無い場合、参加ができない。）
4. 申請済みの書類に変更がある場合は、参加受付時に修正済みの書類を提出すること。

第6条 ゼッケン

申込時に受理されたゼッケン番号を各自で2枚用意し、左右側面ドアへ貼り付けること。

第7条 計測器

1. 参加受付時に計測器とホルダーを貸与する。
2. 計測器の取付け位置は、リアのナンバープレート部もしくは、リアガラス左下部とする。
3. 計測器とホルダーは、レース終了後速やかに受付まで返却すること。

※計測器を破損・紛失させた場合、修復費用を支払うこと。《計測器 50,000 円前後／ホルダー2,000 円前後》

第8条 車両検査

1. すべての参加車両は、定められた時間内に車両検査を受けなければならない。
2. 検査の結果、不適当と判断された車両は、軽微な違反の場合は章典外での参加を認めるが、重大な違反の場合、全ての走行への参加ができない。

第9条 燃料給油

1. 給油中は必ずエンジンを停止すること。
2. 給油は各ピット内で行うことができる。但し、火気には十分に注意すること。
3. 給油する際は、長袖長ズボンを着用すること。
4. レース中の給油は禁止。

第10条 走行における遵守事項

1. シートベルト・ヘルメットの顎紐を確実に締め、運転席の窓は全閉にして走行すること。
※ウインドウネット装着の場合は、窓の開閉は自由。（※公式通知②参照）
2. クラッシュやトラブルによりコース内で停止する場合、やむを得ない場合を除き、走行ライン上やコーナー付近を避け、ハザードランプを点灯させた上で安全な場所で停止し、オフィシャルの指示があるまで安全装備を外したり降車したりせず車内で待機すること。但し、火災等緊急時はすぐに降車し、安全な場所へ避難すること。
3. 故意によるコース外走行や、コーナーをショートカットする行為は禁止とする。
4. やむを得ずコースを外れた場合は、減速し、安全を確認した後にコースへ復帰することができる。
5. コース内でクラッシュやトラブルにより走行不能となった車両は、パドック内専用エリアまでレッカー移動される。（レース中の場合、義務ピットイン回数には含まない）
6. レッカー移動によりピットインした車両に関しては、車両の修復後、オフィシャルスタッフによる車両チェックを受け、再走行の許可が下りればコースインが可能となる。

第11条 ピット・パドックにおける遵守事項（※公式通知①参照）

1. ピットは事前に割り振られた場所を使用すること。
2. ピットロードは傾斜を利用し、発進時以外はアクセルを踏まずに惰性で進行すること。（時速 20km 以下厳守）
3. ピットロードの逆走、バックギアの使用は禁止とする。手押しでのバックのみ可能。
※ピットの出入りや方向転換の際もバックギアの使用は禁止とする。
4. ピットロード（ドライバー交代エリア）では、ドライバー交代の他、ホイールのトルクチェック・タイヤのエアチェック・ガムテープでの外装の簡易補修のみ行える。作業が長時間となる場合や、その他の作業についてはピット内へ移動後に行うこと。
5. レース中、ドライバー交代や作業のためにピットインした際は、必ずピット担当オフィシャルへピットインの理由を告げること。
6. レース中、「義務ピットイン」を **1回以上** 行うこと。
※「義務ピットイン」とは、『ドライバー交代を行う行為』のこと。

※1名で参加の場合：ドライバー交代エリアにて、マシンを降りる→再びマシンに乗り込むことでドライバー交代義務を果たすことができる。

※レッカー移動によるピットイン・赤旗提示後のピットイン・黒旗やオレンジボール等競技長指示でのピットインの場合は「義務ピットイン」の回数には含まない。

7. ピットアウトの際は、コースオフィシャルの指示に従いコースへ進入すること。

第12条 フリー走行兼予選

・フリー走行（同乗走行不可）

- 1) 全てのチームはフリー走行を利用し、マシンやコースの状況を確認すること。
- 2) フリー走行が予選となるので、タイムが速い順が決勝のスターティングポジションとなる。

※フリー走行兼予選中に事故等で車両の回収やコースメンテナンスが必要となった場合、赤旗により走行が中断される。コース内を走行している車両は速やかにピットインすること。

第13条 スタートについて

1. グリッド

- 1) 予選タイム順にスターティングポジションが決定される。
- 2) 定められたコースイン時間内に各車コースインを行い、ショートコースを1周してグリッドへ着く。
- 3) チーム員は、コース内に入り車両をグリッドへ誘導すること。
※グリッド上では、ホイールの増し締め・タイヤのエア調整・窓拭きのみ可能。
- 4) スタート3分前・ドライバー及びオフィシャル以外の全ての者がコース上から退去する。
- 5) スタート1分前・ドライバーは全ての準備を整えた上でエンジンを始動する。

2. スタート方法

・全戦ローリングスタートとする。

- 1) セーフティーカー先導によるフォーメーションラップを2周行う。
- 2) セーフティーカーが動き出した時点で計測はスタートとなる。

3) セーフティーカーがルーフ上の回転灯を消灯し、ピットに入り、メインポストにて緑旗が振られたらレースはスタートとなる。追いつきは計測ラインを通過してから可能となる。

・フォーメーションラップ時のルール

- 1) 追いつきや隊列を乱す行為は禁止とする。
- 2) トラブルなどでスタートできない場合は、手を振ってオフィシャルおよび後続車両に合図を送ること。オフィシャルの補助でエンジンの始動を行い、スタートできれば速やかに隊列の最後尾へ着くこと。スタートできない場合は、ピットへと戻される。
- 3) フォーメーションラップ中のピットインは禁止とする。

4) セーフティーカーは安全の為、ピットロードではなく最終シケインのエスケープゾーンから直接ピット（パドック）へ入る。※これは全てのスタート（再スタートを含む）で適用される。

5) セーフティーカーは隊列の状況に合わせた速度で走行する。

4. ピットスタート

- 1) 規定時間内にコースインできなかった車両はピットスタートとなる。
- 2) ピットスタートの車両は、メインポストにて緑旗が振られた後、全車両がメインポスト前を通過した後にスタートとなる。
- 3) ピットスタートの車両は、フォーメーションラップが無い分、周回数が2周少なくなることを承知すること。

第14条 セーフティーカー（以下、SC）※決勝中のみ

1. 事故や悪天候等で競技の継続に支障があるが、中断の必要がない場合、全ポストで黄旗振動表示/信号は黄色点滅となり、SCを導入して周回を行う場合がある。その際、メインポストからは[SC]ボードの表示があり、追いつきは禁止となる。SC導入中は、SCはルーフ上の青色回転灯を点灯させる。
2. SCは時速60km以下で走行する。各車両は周囲に注意しながら走行を続けること。
3. SC導入から再スタートまでの手順については以下の通り。
 - ① SC導入の事案発生、全ポストから黄旗振動表示。メインポストからは[SC]ボードも表示される。
 - ② SCは、ルーフ上の青色回転灯を点灯させ無作為に最終シケインのエスケープゾーンからコースインする。

← SC □□□□■□□□□□ （■がトップ車両）

- ③ 現場での作業が終了するまではこの状態が維持される。
- ④ SC 導入中のピットインは自由だが、ピットアウトについては、SC が第 2 ヘアピンを通過した時点から禁止となる。隊列がメインポスト前を通過したらオフィシャルの指示によりコースイン可能となる。
- ⑤ 現場での作業終了後、トップ車両捕まえ作業開始。
← SC ■□□□□□□□□□ (■がトップ車両)
※追い越しの指示を受けた車両は SC を追い越し、安全かつ速やかに隊列の最後尾に着くこと。
- ⑥ SC はルーフ上の回転灯を消灯した 1 周回後にピットに入る。
- ⑦ メインポストにて緑旗が振られたらレース再開となる。追い越しは計測ラインを通過してから可能となる。
- 4. トップの車両が隊列に加わっていない場合は、隊列の変更なく再スタートとなる場合がある。

第 15 条 レースの中断（赤旗）※決勝中のみ

- 1. 事故や悪天候等でレース続行が困難となった場合、全ポストで赤旗振動表示／信号は赤色点滅となり、競技が中断される場合がある。(時計は動いたままとする)
- 2. 全ての走行車両は赤旗掲示後、周囲に注意しながら速度を落とし、コースインした SC の後に続き指定された場所で停車すること。(基本的にはバックストレート)
- 3. 赤旗が提示された時点でピットクローズとなり、ピットイン・ピットアウトが禁止となる。
- 4. 赤旗が掲示された時点ですでにピットに入っていた車両は、作業を継続して行うことができる。
- 5. 赤旗掲示後にピットインしてしまった車両は、ピットをスルーしてピット出口で待機すればペナルティーは与えない。この時に作業等を行った場合はペナルティーとなる。
- 6. 再スタートまでの手順については以下の通り。
 - ① 赤旗の事案解消後、停止している隊列の整列を行う。
← SC □□□□■□□□□□ (■がトップ車両)
 - ② SC とトップの間にいる車両に対し、SC を追い越し最後尾へ着くよう指示を出す。(ピットイン禁止)
← SC ■□□□□□□□□□ (■がトップ車両)
 - ③ 全ポストで黄旗振動表示／信号は黄色点滅となり、SC 先導により走行が再開される。(ピットイン可能)

- ④ SC が動き出す前にすでにピット出口で待機していた車両は、SC の隊列が通過した後にコースインすることができる。SC が動き出した後にピット出口に並んだ車両に関しては、レース再開後のコースインとなる。
- ⑤ SC はメインポスト前でルーフ上の回転灯を消灯し、1 周回後にピットに入る。
- ⑥ メインポストにて緑旗が振られたらレース再開となる。追い越しは計測ラインを通過してから可能となる。
- 7. トップの車両が隊列に加わっていない場合は、隊列の変更なく再スタートとなる場合がある。
- 8. 赤旗表示のままチェッカー予定時刻となった場合、競技長の判断によりレース終了となる。その際は、赤旗表示となる 1 周回前の順位を結果とする。

第 16 条 レースの終了

- 1. レース終了時刻を経過した時点で最も周回数の多い先頭車両に対し、メインポストからゼッケン番号の提示と共にチェッカー旗が振られ競技を終了する。
- 2. レース終了時刻となった時点で、ピット出口は閉鎖される。
- 3. チェッカー旗を受けられなかった車両はリタイアとなる。
- 4. スタートが遅れた場合でも、レース終了時刻はタイムスケジュールに記載された時刻とする。
※天候悪化や事故等により、競技長の判断で競技時間の短縮を行う場合がある。その際、義務ピットインが済んでいないチームには-3 周をリザルトに反映し正式結果とする。
- 5. イベント自体は決勝レースがスタートした時点で成立とする。


第 17 条 リタイア（棄権）


- 1. リタイア（棄権）する場合は、計測器を返却すると共にその旨をオフィシャルへ届けること。
- 2. フロントガラスのクモの巣状のひび割れはリタイアとなる。
- 3. 損傷の程度によっては、オフィシャルスタッフの判断によりリタイアとする場合がある。

第 18 条 信号合図（旗・シグナル）

ドライバーは、ポスト等で表示される次の信号合図を熟知し、従わなければならない。


↓全ポストで表示される旗

 緑（旗・信号） … 走行開始。レース開始・再開の合図。黄旗区間の解除。


 黄（旗・信号） … 前方に停止車両や落下物等何らかの危険あり。追い越し禁止。


 赤（旗・信号） … 競技の中断。追い越し禁止。決勝レース以外の走行時はピットへ戻ること。


↓メインポストのみで表示される旗／ボード

 青旗 … 周回遅れの車両に後ろからより周回を重ねていてタイムも速い車両が接近していることを示す旗。


レース中、表示の必要がある場合のみ使用される。この旗を振られた車両は直ちに進路を譲ること。

 チェッカー旗 … 競技の終了。終了後は徐行し追い越し禁止。

 オイル旗 … 路面が急激に滑りやすい状況になったことを知らせる旗。追い越しは可能。（不動表示）


 黒旗 … 他のマシンへの妨害行為や危険行為とみなされる規則違反を行ったことを示す。（不動表示）


表示されたゼッケンの車両は直ちにピットインすること。違反内容によっては罰則も与えられる。

 オレンジボール旗 … 車両に何らかのメカニカルトラブルを抱えていることを示す。（不動表示）

表示されたゼッケンの車両は3周以内にピットインすること。

ドライバーの安全装備に不備がある場合や計測に不具合がある場合も掲示される。

 SC ボード … SC 導入の合図。全有人ポストで黄旗が振られフルコースコーションとなる。

 ゼッケンボード … ゼッケン番号が表示される。

第19条 罰則（ペナルティー）及び抗議

1. 違反行為をオフィシャルスタッフに確認された場合、チームには以下のペナルティーが科される。

1) 決勝結果から1周減算

- ・スタート進行時またはグリッド上での諸違反
- ・反則スタート（フライング等）
- ・ピットロードおよびピットエリアでのバックギアの使用
- ・コースのショートカット
- ・黄旗時の違反（黄旗区間での追越しやスピン等）
- ・ダブルチェッカー

- ・ブロッキング（上位車両の追い越しを妨害し続ける行為）
- ・危険行為（スピンやコースアウト後の強引なコース復帰やコース横断等）
- ・指示の無いSCの追い越し
- ・ピットロードおよびパドックでの速度違反
- ・ピット、パドックでの作業違反

3) 決勝結果から5周減算

- ・義務ピットイン（ドライバー交代）回数不足
- ・赤旗時（レース中）にピットインした上で何らかの作業を行った場合

4) 決勝結果から10周減算

- ・衝突行為（相手車両が横転する原因となる衝突を起こした当該車両）

5) 失格または嚴重な周回数減算

- ・故意による衝突行為や妨害行為、**暴言を吐く**等、場内での悪質なマナー違反
 - ・指定場所以外での喫煙／火気の使用やドライバーの飲酒、参加申込をしていない者の走行
- ※最終シケイン進入での強引な追越し追抜きは危険行為としてペナルティーが科される。
- ※その他、違反行為によって罰則が適用される場合がある。

3. 本大会においての参加者からの抗議は受け付けない。提案や要望は随時受け付ける。

第20条 賞典

1. レース賞典

各戦の表彰はクラス毎に行われ、記念品が贈呈される。

2. 賞典の制限

賞典は各クラスの参加台数によって制限される。

参加台数が3台以下の場合	…	1位のみ
参加台数が4台の場合	…	2位まで
参加台数が5台以上の場合	…	3位まで

※受付期間内に参加受理された台数を正式参加台数とする。

第21条 参加者の遵守事項と注意事項

1. すべての参加者はオフィシャルの指示に従うこと。
2. すべての参加者は常に安全の確保を留意すること。
3. 本大会は通常のイベントとは違うパドックレイアウトとなる。参加者やチーム関係者によるピットロードへの飛び出し等、危険な行為が発覚した場合、当該チームに対しペナルティーを科す場合がある。
4. 他の参加者に対し罵声を浴びせる行為や、大声で騒ぐような行為を禁止とする。
5. ピットロード・サインボードエリアでの傘（日傘含む）の使用は禁止とする。
6. ピット内のコンセントは車両整備関係にのみ使用可能。電気ポットやストーブ等の家電製品には使用禁止。
7. 不明な点がある場合は、開催日までに主催者に質問し解決すること。
8. 【喫煙所】以外の場所での火気の使用・喫煙は禁止とする。
9. 本大会規則は予告無く変更される場合がある。

当日の車検については、設備や時間の都合上『全て』を確認することはできません。

見えない部分に関しては、皆様の良識にお任せすることになっていきます。

“見つからなければ大丈夫”という考えではなく、各クラス、イコールコンディションで楽しくレースが行えることが前提となるようお願いできればと思います。


HERO SINOI CIRCUIT

ver.1 2017.5.5 発行